

令和7年度（2025年度） エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業（標茶地域）



（標茶町オソツベツ囲いわな内カメラより）
釧路総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係

事業概要

実施市町村：標茶町

実施地域：オソツベツ地区

受託者：北泉開発株式会社

契約期間：R7.10.30～R8.3.20

目標頭数：100頭

捕獲頭数：79頭（1/30時点）

捕獲方法：罝いわな

捕獲場所の選定

従来：事前調査を実施し、捕獲場所・方法を検討。



今回：過去5年間で成績が良かった事業地と同じ場所
前回の検証結果をもとに工夫を加える手法

事業年度	実施場所	捕獲数
令和元年度	釧路市 (高山→春採)	高山 20頭 春採 35頭
令和2年度	釧路市春採	14頭
令和3年度	釧路町別保	14頭
令和4年度	浜中町霧多布	37頭
令和5年度	標茶町五十石	47頭
令和6年度	鶴居村下幌呂	20頭

標茶町におけるエゾシカ被害の現状

- 被害は全町的に見られ、令和4年度に約2億8千万円の農業被害が発生。令和6年度も被害が減っていない。
- 国指定の鳥獣保護区及び釧路湿原国立公園に指定されている、町による有害捕獲（銃猟、くくりわな）の実施が困難である。
- エゾシカを起因とする交通事故、生活環境被害、国立公園内においては、希少植物の採食や踏み荒らし等の被害が発生している。



令和5年3月から自動撮影カメラを設置し、調査を開始。
令和5年10月から捕獲事業を実施、47頭を捕獲。

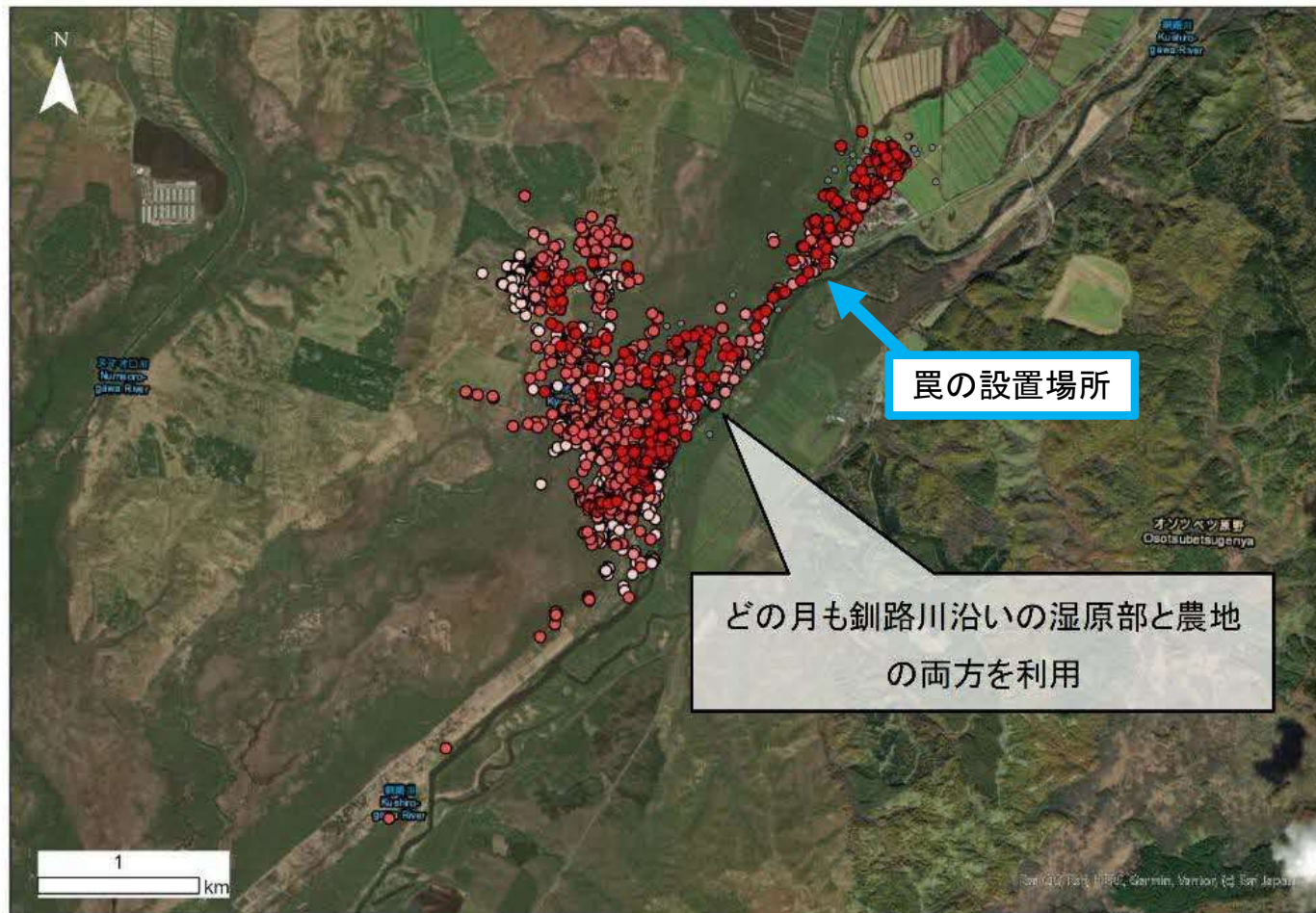
捕獲実施場所の状況



令和5年度 GPS調査の結果

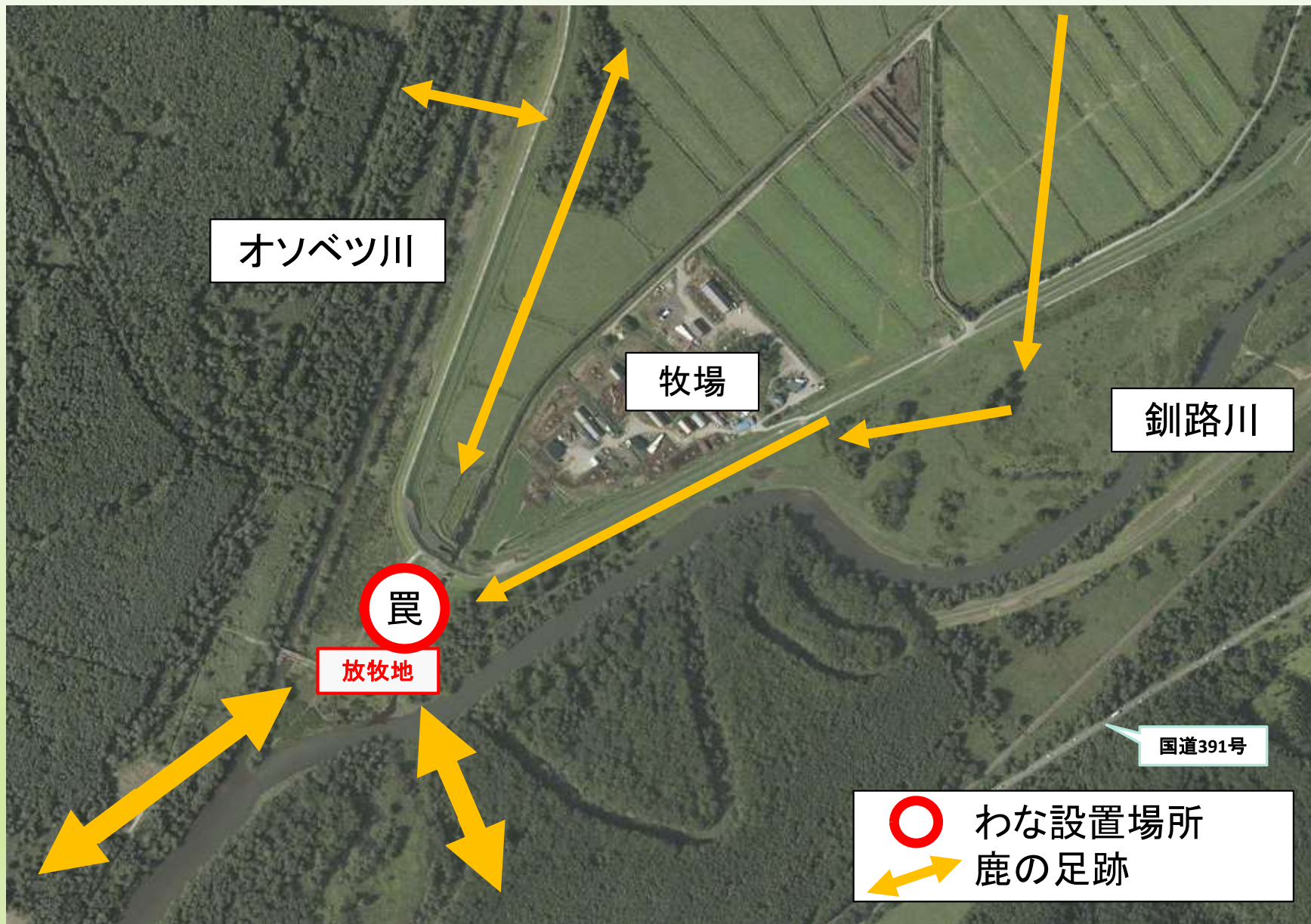
(2) GPS 装着個体の動き

GPS 首輪を装着したエゾシカの 2024 年 3 月 9 日から 6 月 25 日までの動きを図 2 に示した。



調査実施: EnVision環境保全事務所

事業実施位置図



地理院地図

捕獲手法の工夫



○令和5年度事業

捕獲実施回数 15回

捕獲頭数 47頭

→1回平均3頭しか獲れていない



シカはたくさんいるのに
捕獲数が少ない

○調整会議でわなの大型化を協議

令和7年度事業では

外周37m→50mに変更

○その他の変更点

- ・ゲートの高さを90cm高くした
- ・吊り下げエサを使用
- ・エサを3種類用意
(バースレット、ルサンハイ、ハイキューブ)

捕獲状況

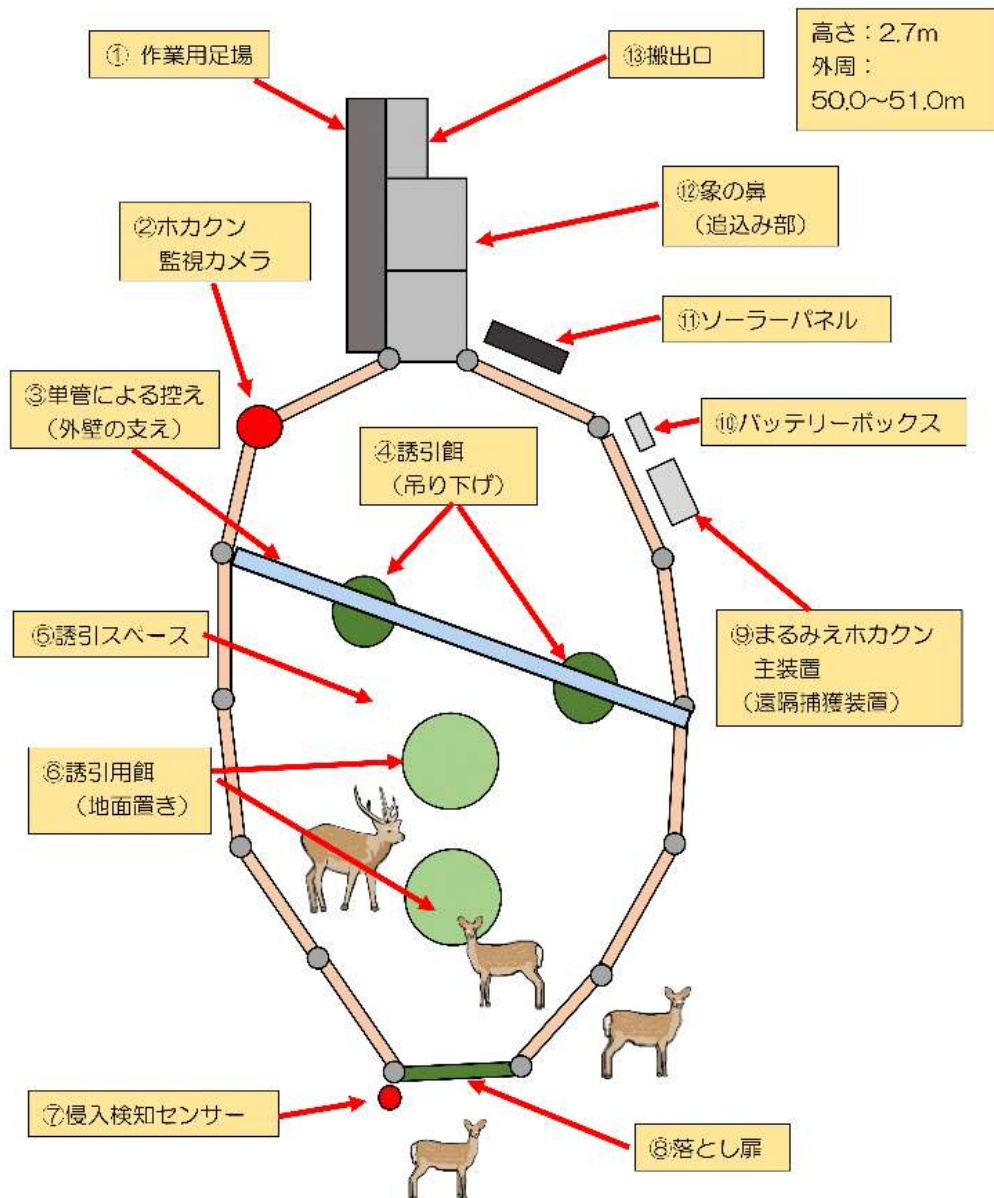
捕獲日	捕獲数
12月22日	7頭
12月23日	8頭
12月24日	9頭
12月25日	4頭
1月 6日	4頭
1月 8日	3頭
1月14日	7頭
1月20日	5頭
1月22日朝	2頭
1月22日夜	12頭
1月27日	6頭
1月28日	4頭
1月29日	4頭
1月30日	4頭

捕獲開始から4日間で28頭

→1回の最多

捕獲回数14回
捕獲頭数79頭
1回平均5.6頭捕獲

囲いわな平面図・捕獲手順



- ①シカがわなの中に入る
- ②専用アプリに通知がいく
- ③捕獲担当者（受託者）がアプリ上の捕獲ボタンを押す
- ④わなのゲートが閉じる
- ⑤受託者が捕獲個体を追い込み部（象の鼻）へ追い込む
- ⑥追い込んだシカをユニックに乗せ有効活用施設へ

発生している課題

・捕獲数が増えたことで混獲リスクが増大

○1月8日

3頭捕獲(3頭ともオス)

小さいシカが大きいシカに角で突かれていた。

○1月22日

12頭捕獲(うち2頭オス)

若いオスが大きいオスに襲われ死亡した。



いまのところ、オスがわなを出るまで待つて捕獲する
くらいしか対策がない。

まとめ

- 捕獲場所の選定方法
過去5年間で一番実績のある捕獲地
- 捕獲地の状況
大小二つの河川の合流地点
牛の放牧地があり日常的にシカが誘引されている
- 捕獲手法の工夫
わなを大きくした〈外周50m〉
- 捕獲時期
12月の降雪が少ない時期から捕獲開始

釧路総合振興局の捕獲事業では過去最多の捕獲数を更新中